



八戸市議会議員選挙

山名 文世 当選！

吉田 忠智（参議院補選 大分）は惜敗

八戸市議会議員選挙は23日(日)、投開票が行われ全自交労連 組織内推薦候補の山名 文世 氏(立憲)が1,859票を獲得し、見事に6回目の当選を果たした。

山名氏は選挙期間中、一貫して「勤労者の生活と権利を守り地場産業の育成を果たし、弱者の視点に立った『真に豊かな街づくり』の必要性」と5期に渡るこれまでの実績を訴え、八戸市民からの支持を得ることが出来た。

山名 文世氏の当選に向けて力を合わせた、全自交青森地連、東北地連、そして全国の仲間に改めて感謝する。

一方、参議院補欠選挙(大分)では、これまで全自交と深く関わってきた吉田 忠智 氏が、341票の僅差で惜敗した。

立憲民主党は野党共闘が実現した参議院大分の補選を「最大重点地区」に設定し、吉田 忠智氏の当選に向けて連日、党をあげての応援を続けたが僅かに届かなかった。

衆・参両院の5つの補欠選挙は岸田政権の中間評価と位置付けられ、物価高騰や少子化対策、防衛費の増大問題等が論戦のテーマとなっていた。

今回の選挙では『賃上げの実績』を強調する与党側の候補者がいた。

しかし、賃上げは労働組合による事業者との交渉の成果だ。

全自交はこれからも働く仲間の目線で政治に取り組む仲間を増やしていくために、力を合わせていく。